

高村 薫の最高傑作

遂に映画化！

日本を代表するビール会社の社長が誘拐された。
レディ・ジョーカーと名乗る犯人の目的は何か――。

渡哲也

徳重聰

吉川晃司

原作／高村 薫
(毎日新聞社刊)

脚本／鄭 義信

製作／「レディ・ジョーカー」製作委員会

日活
(毎日新聞社)

東映
(テレビ朝日
スポーツニッポン)

吹越満
(日本出版販売)

企画・製作／日活
(石原プロモーション)

特別協力／岸部一徳
(配給／東映)

監督／平山秀幸



レディ・ジョーカー

すべての始まりは、あの吹雪の夜だった。



圧倒的巨編：原作者・高村薫も絶賛

社会派文学の旗手・直木賞作家・高村薫が1997年に発表し、今まで64万部の大ベストセラーとなつて、現在も着々と部数を伸ばして氣を吐く巨編「レディ・ジョーカー」。

グリコ・森永事件に想を得て書き綴られたこの小説は、そのスケール、その深遠な主題、その衝撃的なドラマ展開を以つて、映画化絶対不可能とされていたものの、これを実に5年に及ぶ歳月を費やして、遂に実現させた感動作である。

激しくも悲しい壮大な人間ドラマを紡ぎだし、困難な時代を生きる人々を大いなる感動に誘う、渾身の野心大作。

何故、犯行に及んだのか。

日本を代表するビール会社社長が、大胆不敵にして用意周到な計画のもと、誘拐された。犯行に及んだのは、熟練の犯罪プロではなく、意外なことに社会の片隅に生きる名もない男たちだった。——「レディ・

ジョーカー」と名乗る5人の犯人。小さな薬店の店主、中年のトラック運転手、信用金庫の職員、町工場の若い盤工、下積みのノンキャリア刑事。彼らは身の内に抱えた恵まれぬ境遇を生きていた——（人質は350万キロリットルのビール。要求は20億円だ）。

この事件を巡って、犯人側の心情と動き、被害者である企業内部の混乱、そしてさらに若き刑事合田をはじめ捜査陣の執念と組織的矛盾などが絡み合う三者三様の人間像。併せて社会的強者と弱者の葛藤、理不尽な差別の問題の存在まで描ききつて、感動的なクライマックスに突き進んでいく。

支払ウ用意人出来タ力。
幾千夜の想い――

レディ・ジョーカー

渡哲也	徳重聰	吉川晃司	大杉漣	吹越満	加藤晴彦	菅野美穂	長塚京三
物井清三 薬店の老店主。兄・清二と孫の事故死を契機に、大企業を根底から揺さぶっていく。	合田雄一郎 捜査陣の一員。やがて犯人の一人が同じ警察組織の人間であることに気付く若手刑事。	半田修平 捜査陣の一員。经济界、金融界に詳しいノウハウを持つ娘く愛称・レディを抱える。	布川淳一 信用金庫職員。經濟界、金融界に詳しいノウハウを持つ娘く愛称・レディを抱える。	高克己 小笠原町工場の旋盤工。物井を慕い、犯行に加わりつつも金には執着がない性格である。	松戸陽吉 城山佳子 自分自身が事件の発端に影響を与えてしまったのではないかと苦悩する城山社長の姪。	城山恭介 年商1兆2千億円の「日出ビール」社長。解放後、地位と家族との葛藤のすえ、裏取引を図る。	

12月11日全国東映系ロードショー

www.ladyjoker.jp